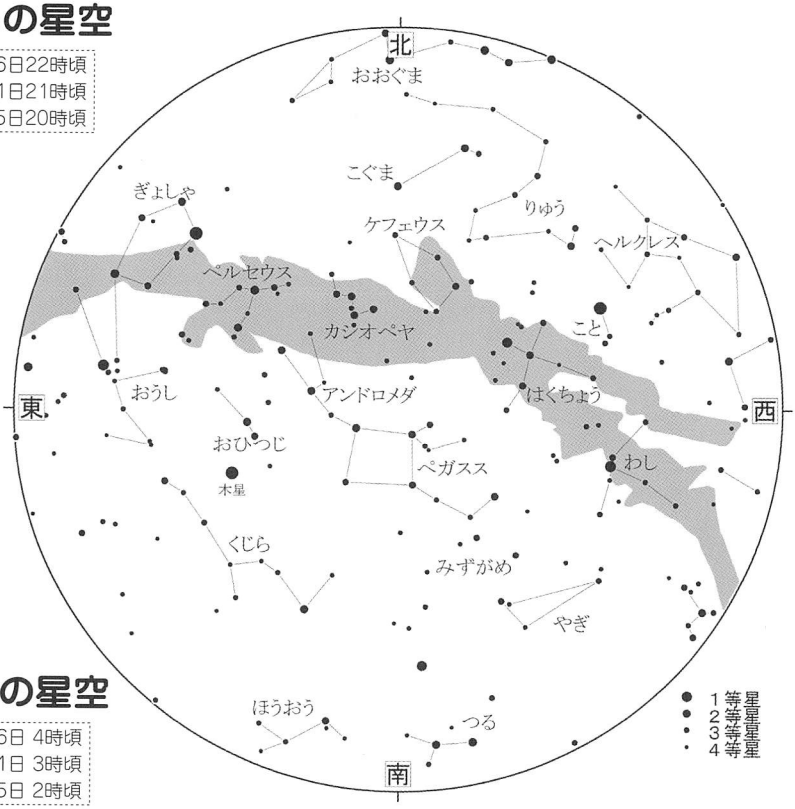
☆星空ガイド　10月16日～11月15日

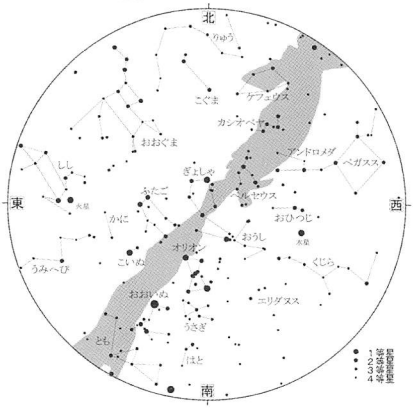
よいの星空

10月16日22時頃
11月　1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

10月 16日 4時頃
11月　1日 3時頃
15日 2時頃



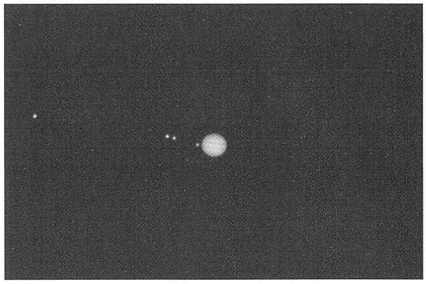
※惑星は2011年11月1日の位置です。

[太陽と月の出入(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
10	16	日	6:03	17:23	19:49	9:36	18.7
	21	金	6:07	17:17	--:--	13:23	23.7
	26	水	6:12	17:11	5:15	16:27	28.7
11	1	火	6:17	17:05	11:37	22:08	5.3
	6	日	6:22	17:00	14:20	2:01	10.3
	11	金	6:27	16:56	17:03	6:37	15.3
	15	火	6:30	16:53	20:27	10:01	19.3

＜木星が衝＞

太陽系最大の惑星、木星が10月29日に衝となります。衝とは地球から見てちょうど太陽の反対側の位置に来ることを言います。日が沈むのと入れ替わるように昇ることになるため、ほぼ一晩中木星を見ることができるシーズンとなりました。木星は−2.9等級という、たいへんな明るさで輝いています。夜9時ごろでしたら東の空でどの星よりも明るく輝いており、大阪市内でもすぐに見つけることができます。望遠鏡をお持ちの方は、ぜひ望遠鏡で木星をご覧ください。木星の周りにある4つのガリレオ衛星を簡単に見つけることができるでしょう。



木星とガリレオ衛星

＜オリオン座流星群＞

10月22日未明に、オリオン座流星群が極大を迎えます。この流星群は通常1時間当たり10個程度の流れ星が見られる中程度の流星群なのですが、今年は下弦過ぎの月があるため、あまり条件は良くありません。

＜水星が東方最大離角＞

11月14日、水星が東方最大離角の位置に来ます。水星は最も太陽に近いところを回っている惑星のため、太陽のすぐそばにしか見えません。この日は水星が太陽から東側に最も離れて見える日です。そのため夕方日没後、比較的見やすくなりますが、それでも日没時の角度は地平線から10度程度しかありませんので、見つけるのはかなり大変です。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
10	16	日	月とアルデバランがならぶ
	20	木	◑下弦（13時）
	21	金	土用の入
	22	土	オリオン座流星群が極大のころ 月と火星がならぶ（明け方）
	23	日	月とレグルスがならぶ（明け方）
	24	月	霜降
	26	水	月が最近（357052km）
	27	木	●新月（5時）
	29	土	木星が衝

月	日	曜	主な天文現象など
11	3	木	◐上弦（2時）
	8	火	立冬/月が最遠（406177km）
	9	水	水星と金星、アンタレスが接近 月と木星がならぶ
	11	金	○満月(5時)/月とすばるがならぶ 火星とレグルスが接近
	12	土	月とアルデバランがならぶ
	14	月	水星が東方最大離角

江越　航（科学館学芸員）